

あなたのご家族（兄弟・姉妹・父母・祖父母）に八中の卒業生がいたら見せて下さ

変わる社会 米と小麦の自給率 前号では、米食とパン食についてお話してきましたが、今回はそれらの自給率についてお話しします。自給率をお話する上で、まずは我が国の基本的な自給率（穀物）を把握せねばなりません。現在の我が国の自給率は、約 38%と云われています。

日本	カナダ	豪州	アメリカ	フランス	イギリス	ドイツ	中国	ロシア
38%	264%	224%	130%	127%	78%	101%	95%	124%

圧倒的に少ない日本の穀物の自給率ですね。これが何を意味するかが問題です。現在、ウクライナ・イスラエル・コンゴの紛争、更には中国の台湾進攻問題と世界はきな臭い状況にあります。その為、食料の輸出を控える国が、インドを含め既に約 30 カ国が穀物の輸出を停止しています。

日本の米の自給率は約 120%の 800 万トン～950 万トン、消費量は 700 万トンです。しかし、小麦の自給率に関しては 15%、85%を輸入に頼っています。もし我が国への輸出が停止されたならば、一気に戦後の食料不足と同様となり、都市部に住む人々は地方へお金や物資を持って、食料との交換に頭を下げて出向かなければなりません。でなければ飢え死にです。

特に我が国が直接でなくても周辺国が戦時態勢になれば、食料の輸入もままならなくなることは必然です。それは格国が国防に対して行う 3 要素があるからです。①防衛②食料③エネルギーなのです。

しかし、我が国（2024 年）は、防衛予算は 7 兆 7249 億・食料（農業予算）2 兆 2686 億・エネルギー関連は 1 兆 6241 億です。食料が無ければ人間生きられませんが、予算は防衛の 1/3。

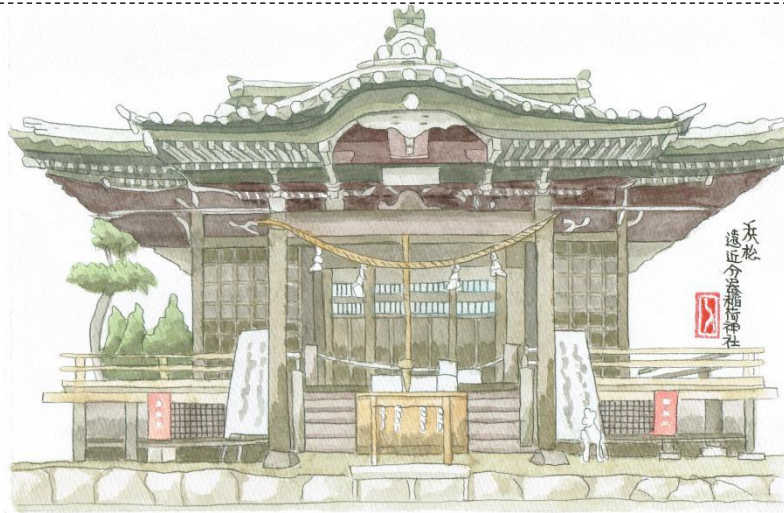
これらの国防に関する予算は、直接的な防衛予算と考えれば、国民が生き延びるには誠に残念な予算です。また、自給自足や自家発電は自己防衛として必要ですが、何ら恩恵の少ない状況です。何故なら自家発電や自給自足が普及すると、これらから政府は税金が取れないからでしょう。

現在農業は、高齢化や後継者不足などにより、休耕地が増えております。すぐに大規模農業での効率化が取りざたされますが、分割して市民農園などの自給策も必要かと思えます。また、自給率の高い米作を更に強化するのも良い。何故なら米作は連作が可能で比較的手間の少ない農業です。家庭菜園などをしている人ならよく分かりますが、連作出来ない作物は多く、輪作によるローテーション、土壌改良、更には雑草取りなどと思ったより手が掛かるからです。

また小麦に関して言えば、日本では不向きな作物で、西欧諸国に比べると単収では半分とされていますので、非効率なものようです。ですから生産するよりも輸入した方がはるかに安く、品質的にもパンや中華麺には向かないとのこと。また、国産米粉のパンを一人が月に 3 回食べると、自給率が 1%上がるとの報告もある。ゆえに、米作の増産及び見直しは重要課題であろう。

家康ゆかりの地

⑨清瀧寺 家康公の嫡男として、2 代将軍になっていたかもしれない信康を祀る墓が、この寺にあります。信康を供養するために建立されたお寺です。「清瀧寺」の命名も家康公地震です。



「同窓会だより」掲載記事募集

八幡中学校同窓会事務局 代表 白井 鉄男
連絡先：〒430-0928

浜松市中区板屋町 612-402

FAX：(053) 489-6391

ironman29@hotmail.co.jp

「同窓会だより」は、八幡中学ホームページトップの「特色ある活動」から入ると、スマホやパソコンからでも見られます。皆様の友人や同級生にも教えてあげて下さい。「同窓会だより」は毎月発行。